

〔抄録様式〕

公益財団法人 8020 推進財団
平成 29 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：舌圧測定を用いた潜在するオーラルフレイル高齢者に対する短期集中口腔ケアサービスモデル事業

2. 申請者名：一般社団法人広島市歯科医師会

3. 実施組織：一般社団法人広島市歯科医師会、広島市内地域包括支援センター

4. 事業の概要：介護予防・日常生活支援総合事業において、広島市では、口腔領域として歯科医院で行う短期集中口腔ケアサービスを、広島市歯科医師会が委託を受け実施している。しかしながら、口腔機能低下いわゆるオーラルフレイルは自覚症状なく進んでることが多く、現状のチェックリストの口腔項目該当者からの抽出ではサービスにつながるものが少ない。そこで、広島市内協力歯科医院にて、同意を得た総合事業対象者（要支援 1・2 を含む）全員に対し、従来のチェックリストに加え、舌圧等の口腔機能の評価を行い、オーラルフレイルが認められれば、地域包括支援センターと連携し、歯科医院で行う短期集中口腔ケアサービスを実施する。本事業により、地域の歯科診療所と地域包括支援センターが連携して口腔ケアサービスの推進を図るとともに、舌圧測定、舌トレーニング用具を活用したサービス実施数の向上および口腔機能向上の効果を科学的、客観的に評価することを目的とする。

5. 事業内容：

- ① 事業協力歯科医院（22 歯科医院）において、全ての高齢者に対し、チェックリスト口腔 3 項目および舌圧測定の実施し、オーラルフレイルが認められる高齢者を抽出する。
- ② 地域包括支援センターでの手続きを経て、歯科医院での短期集中型口腔ケアサービス（3 か月間 7 回のサービス）を実施する。
- ③ サービス終了後に舌圧の数値を含めた口腔ケアアセスメント票とサービス期間中の歯科治療の有無および内容、アンケート調査も含めて事業の効果を検証し、報告書を作成する。
- ④ 作成された報告書は、地域包括支援センターや介護支援専門員等に配布し、舌圧測定、舌トレーニング用具を活用したサービス実施数の向上および口腔機能向上の効果についての普及・啓発を図る。

6. 実施後の評価（今後の課題）：広島市で行われている短期集中口腔ケアサービスに舌圧検査とペコばんだによる口腔機能の定量評価とトレーニングを導入したところ、利用者が増加し、利用者自身の口腔機能への関心が高まり、咀嚼や嚥下などの口腔機能にも改善が認められた。

今回の事業では、利用者の多くがすでに歯科医院に通院されており、比較的、健康状態の良い高齢者が対象となっていた。しかし、その中でも口腔機能低下の早期発見や改善につながった利用者も多く、本サービスの有効性が改めて示される結果となった。

今後は、地域包括支援センターとの連携により、地域在住の高齢者の介護予防、フレイルの早期発見に本サービスと共通の検査、トレーニングが利用され、より積極的な介護予防につながることを期待されるため、いかに歯科医院に通院していない口腔機能低下を有するものを抽出し、サービスにつなげていくかが課題となる。